

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成23年1月27日(2011.1.27)

【公表番号】特表2010-511501(P2010-511501A)

【公表日】平成22年4月15日(2010.4.15)

【年通号数】公開・登録公報2010-015

【出願番号】特願2009-539664(P2009-539664)

【国際特許分類】

B 0 1 J 19/00 (2006.01)

B 0 1 F 11/00 (2006.01)

B 0 1 F 13/08 (2006.01)

【F I】

B 0 1 J 19/00 3 2 1

B 0 1 F 11/00 B

B 0 1 F 13/08 Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年12月6日(2010.12.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

内部を連続的に又は間欠的に流れるプロセス材料を処理するためのシステムであって、
2 つ以上のセル(2)を備え、セルは、プロセス材料が流れるセル間導管(4)によっ
て連結され、

セル内での混合は、セル内にある攪拌要素(1)を動かすことにより生じ、攪拌要素は、
プロセス材料とは異なる密度を有し、機械式駆動機構に連結されていないことを特徴と
するシステム。

【請求項 2】

攪拌要素(1)の運動は、セル(4)を振盪させ、振動させ、又は揺さぶることで生じ
る、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】

4 つ以上のセルを有する請求項 1 又は 2 に記載のシステム。

【請求項 4】

異なる密度は、液滴、泡、粒子、固体物体又はポケットの携帯にある、異なる密度の固
体、液体、又は気体の組み合わせによって生じる、請求項 1 乃至 3 の何れか 1 項に記載の
システム。

【請求項 5】

所望のセルの容積を提供するために、一つ以上のセル内にインサートが提供される、請
求項 1 乃至 4 の何れか 1 項に記載のシステム。

【請求項 6】

プロセス流体の温度を制御するための伝熱要素(1)を備える、請求項 1 乃至 5 の何れ
か 1 項に記載のシステム。

【請求項 7】

攪拌要素は、ヒンジ又は可撓性連結部によってセルにつながれている請求項 1 乃至 6 の
何れか 1 項に記載のシステム。

【請求項 8】

セルの容積は異なるものである請求項 1 乃至 7 の何れか 1 項に記載のシステム。

【請求項 9】

セル間導管（４）によって相互に連結された一連のセル（３）と、

セル（３）内のプロセス材料を攪拌するための手段とを備え、

攪拌は、セルの壁と物理的に接触せずにセル内に配置された攪拌要素（１）によってもたらされる、反応装置。